

【 概 要 】

2013年度 民間住宅ローン利用者の実態調査 【フラット35利用者編】(第1回)

I 調査の概要

調査対象期間(2013年3月～2013年6月)に民間住宅ローン(フラット35を含む。)の借入れをされた方を対象とし、利用した住宅ローンの金利タイプや住宅ローン選びに関する事項について、インターネットによるアンケート調査を実施し、そのうちフラット35利用者についての結果をとりまとめたものである。回答数:171件

II 調査結果の主なポイント

※<>は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

1 フラット35を知るきっかけは、「インターネット」が最も多い

- ・フラット35を知るきっかけは、「インターネット」(28.7%)が最も多く、次いで「住宅・販売事業者」(21.1%)、「新聞記事」(19.9%)となっている。フラット35以外の住宅ローンを利用された方と比較すると、「インターネット」、「新聞記事」、「住宅情報誌」、「新聞広告」、「テレビ」等の影響が大きい。

<p2>

2 インターネットで収集した住宅関連情報は、「住宅ローンに関する情報(金利情報等)」が最も多い

- ・インターネットで収集した住宅関連情報は、「住宅ローンに関する情報(金利情報等)」(65.3%)が最も多く、次いで「資金計画に関するシミュレーション」(46.9%)となっている。<p.4>

3 フラット35を利用した理由は、「金利が低い」が最も多い

- ・フラット35を利用した理由は、「金利が低い」(51.5%)が最も多く、次いで「金利上昇に備えて将来の返済額を確定」(45.0%)、「フラット35Sを利用したい」(20.5%)となっている。<p.5>